



批評と紹介

岡山縣の道路愛護事業

長谷川勝伍

道路は吾人の生活上直接重大なる關係を有し、社會文化の向上、各種産業の發展等、一つとして道路の完備に俟たないものゝ無いことは、今更言を要しないのであります。

依て、國、府縣、市町村を問はず、主力を道路の改良に傾注し、年々多額の費用を投じ、着々改善の實績を擧げつゝあるは、寔に慶ぶべき事柄であります。然し乍ら、一面には世の進運と共に、高速度交通機關の普及發達に伴ひ道路損傷の程度も亦決して昔日の比で無いのであります。

隨而如何に國家や、府縣市町村が道路の改良を策し維持

修繕に努力するとともに社會一般が道路愛護の觀念を有せざる限り到底道路政策の萬全を期する事は難中の難事に屬するものと信するのであります。

茲に於て我岡山縣に於ては、一般民衆の道路に關する愛護觀念の喚起養成を第一目的とし客年八月道路愛護獎勵規程を設け愛護會の設立を慫慂大に努めたのであります。然るに時恰も時局匡救事業の實施期に際會し七年度に在りては其の設立數凡そ五十團體にして期待した程の組織を見得なかつた事は甚だ遺憾とする所でありましたが各團體と

も其の成績は極めて良好でありまして、其の結果其の活躍

實に見るべ

きものの有

つた事は寔

に欣快に堪

へない次第

でありま

す。そして

慎重審査の

結果一等二

二等二、三

等五、四等

五、五等七

合計二十一

團體入賞と

決したので

四月二十九日天長の佳節を卜し賞品授與式を舉行し尙此の



機會に於て多年道路の改良に盡瘁せられたる功勞者四氏を

表彰し感謝狀外記念品を贈呈したのであります。

敘上の事實から考察しまして本年度に於ては愛

護會數も漸次増加したので所期以上の効果を擧げ

得るものと今より大に囑望して居る次第であります

す。今愛護團體及其の採點標準と功勞者の功績を

摘録すれば左の如くであります。

道路愛護會表彰團體

道路功勞者表彰式 愛護會表彰式 記者列會式 記者列會式 記者列會式

等級賞金

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 一等賞 壹百圓 | 英田郡栗廣村 | 田殿道路愛護會 |
| 一等賞 壹百圓 | 赤磐郡湯瀨村 | 肩春道路愛護會 |
| 二等賞 七拾五圓 | 御津郡牧山村 | 中山道路愛護會 |
| 二等賞 七拾五圓 | 吉備郡二萬村 | 道路愛護會 |
| 三等賞 五拾圓 | 上房郡皆部村 | 阿口道路愛護會 |
| 三等賞 五拾圓 | 御津郡圓城村 | 南部道路愛護會 |
| 三等賞 五拾圓 | 同 牧山村 | 下牧道路愛護會 |
| 三等賞 五拾圓 | 赤磐郡湯瀨村 | 大内道路愛護會 |
| 三等賞 五拾圓 | 同 高陽村 | 日古木道路愛護會 |

四等賞	貳拾五圓	同	湯瀨村	江尻道路愛護會
四等賞	貳拾五圓	上房郡	皆部町	上皆部道路愛護會
四等賞	貳拾五圓	眞庭郡	湯野村	道路愛護會
四等賞	貳拾五圓	御津郡	馬屋上村	道路愛護會
四等賞	貳拾五圓	上房郡	皆部町	下皆部道路愛護會
五等賞	銀一打	赤磐郡	五城村	道路愛護會
五等賞	同	御津郡	牧山村	中牧道路愛護會
五等賞	同	同	建部村	道路愛護會
五等賞	同	英田郡	栗廣村	山東道路愛護會
五等賞	同	御津郡	圓城村	北部道路愛護會
五等賞	同	同	馬屋上村	長野道路愛護會
五等賞	同	同	同	大窪道路愛護會

採點標準

- 一 在來路面の良否 三〇點
- 二 作業成績 三〇點
- 三 團體の支出經費並事務整理其他 四〇點
- 計 一〇〇點

以上の通り百點萬點として實際踏査の狀況に應じ孰れも各項目に涉り減點審査の方法を採用し其の決定を見るに至

つた次第であります。

功勞者の功績

岡山縣淺口郡寄島町 村上 森造氏

各種の公共事業に貢獻せる所甚だ大なり、殊に道路愛護の念剛く此の方面に對し精神的に物質的に盡瘁せし功績極めて顯著にして之が修築に私財を投ぜし額のみにも既に貳萬五千圓の多額に及べり。

岡山縣後月郡芳井町 町長 早川 謙造氏

地方産業の開發町村の自治等に對する功績顯著なるが就中道路の修築に關しては大正九年以來十五回に亘り壹萬九千四百餘圓の自費を支出し専ら交通運輸を圖れり。

岡山縣阿曾郡豐永村 勳六等 萩野 繁太郎氏

地方公共の事業に盡すこと多年殊に道路の改善に關しては青年團、在郷軍人分會等の諸團體に對し道路愛護の精神

鼓吹に努め、自ら大正九年より同十二年迄年々貳拾五圓乃至五拾圓を投じて道路修築の爲めに盡す又縣道刑部成羽線改良に當りても私財四百圓を支出せり、其の他新道改築に對し潰地の寄附を爲し又私財を以て「道路の改良」なる冊子二千部を刊行配布して道路改良の精神涵養を圖る等其の功蹟實に顯著なり。

岡山縣阿哲郡上型部村大字大井野

竹本忠治郎氏

日本に於けるセメント工業に就て

地方民一般の敬服せる篤行者たり殊に熱烈なる道路愛護精神を以て大井野修路團長と自稱して克く衆を率ゐ道路の改良、除雪作業、橋梁改築作業に當りては常に他に率先して活動し潰地の買収等にも相當の私費を投じて盡瘁せり又ポスターを印刷し宣傳歌を作りて道路愛護會精神の涵養に努むる等其の功蹟亦偉大なるものあり従て附近に於ては道路と謂へば直に同君を聯想する程有名なり。

之れは第七回國際道路會議に提案すべきセメント系舗裝道路に關する資料として調査せるものである。

狩野宗三
藤井光藏

一 ポルトランドセメント工業に就て

紹介